月の東京灣

大町桂月

青空文庫

明日は日本橋の魚市に上るらむ、魚類の運搬を主として、旅客を副とせる汽船の、三崎より來りて、松輪に寄航するを待ち合せて、艀より直ちに甲板に上る。夜の十時頃也。

船室の中には、七八人、みな横臥して、また餘地なし。室外に蓙を敷かせて坐る。七月の末つ方、陸上の人は炎熱に堪へざらむ。こゝは漫々たる蒼波、見るからに心地よく、清風陣々として、涼氣船に溢る。一天霽れ盡して、十五夜の明月高く懸る。裸男獨り甲板の上に、この清風明月を占む。相州の武山や、房州の富山や、鋸山や、送る劍ヶ崎や、迎ふる觀音崎や、一種の友の心地して、煙草を吹けば、興味更に加はる。なほ慾張りて酒あらばとは、我ながら凡夫の身なる哉。

下浦に寄航しけるに、二三人の乘客あり。其中、一人の青年、來りて裸男と蓙を分つ。浦賀に寄航したる時には、乘客多し。米國海軍提督ペルリの始めて所謂黒船を寄せたりけむ、そゞろに嘉永の昔を思ふ。裸男の蓙に、二人づれの男と二人づれの女と、幾んど同時に來りしが、男の方はすばやく坐り込む。女の方は腰だけを蓙の上に卸してしやがむ。側に今一枚だけ蓙を敷く餘地あり。裸男ボーイを呼びて、蓙を持ち來らしむ。ボーイ蓙を敷くより早く、二人づれの男周章てゝ之に移りて、直ちに横になる。女代りて漸く坐ることを得たり。禮のつもりにや、一人の女、袂より鹽煎餅二枚を取りて、裸男に呉れむとす。之を辭すれば、『毒は入り居らず』とて、別に一枚袂より取り出して食ふ。手にせる煎餅を引込めさうにもせず。止むを得ず、受取りて袂に入る。

晝を欺くばかりの月夜なれども、頭上にズツクの假屋根あるを以て、居まはりは薄暗くして、女の顔はさだかならざるが、いづれも上方の語音を帶びたり。一人は五十ぐらゐにて痩せたり。一人は三十五六にて、太れり。其腰殊に大也。裸男に煎餅を呉れたるは、その肥れる女にて、『風が涼しいの、月が好いの』と、頻に話しかくれど、裸男は唯　うん〳〵とのみ答へぬ。

艫の一段高き處の蓙は、三人にて占めたり。そこには月影させるを以て、三人の顔さやかに見ゆ。二人は洋服の紳士、一人は丸髷の年若き女也。白粉のにほひ、この女より洩れ來たる。三人とも、よく饒舌りて語り合ふ。男は友人同士にて、一瓶のビールを分ち合ふ。女は、どちらかの細君と思へど、さうでもなし。船に乘る少し前に、知合となりたるにて、夫は下室に殘し、涼味を取らむとて、己れ一人甲板に上りたるにて、所謂怪しき女にてもなし。中等社會の奥様也。然るに、其顔を見れば、多情の相也。甘つたるき口付にて、『宿は客を好めど、妾はうるさくて堪まらず』など、はしたなきことを、臆面もなく吐露す。馬鹿は馬鹿にしても、奥様然として居ることか、昨今の知合にて、己れに接する男にしなだれかゝる。藤の蔓の、杉にからまるも啻ならざる有様。さすがに男も友人の手前を憚りてや、ふと身を轉じて、天上の明月を見る。

裸男の蓙にては、老いたる女、先づ横になる。若き女も暫らくして横になる。艫の男女三人も横になる。甲板の上、幾んど横にならぬものはなし。二人三人、横にはならざるが、體を曲げて眠れる様子也。裸男ひとり正坐す。これ裸男が唱ふる所の正坐法を實行する也。

風あれども、波たゝず。如何に船に弱き人とて、この船には酔はざるべしと思はるゝばかり也。而も涼しく、而も月明かに、船は靜

に金波銀波の上を行く。この涼味と快味とは、少なくとも裸男の二三年以來には知らざりし所也。されど夜の二三時となりては、涼しさ過ぎて、むしろ寒さを覺ゆ。眠くなりては、正坐も苦しくなりぬ。されど身を横にするの餘地なし。若き女起き上りて、餘地あり。身を横にす。幾時間か眠りけむ、眼をさませば、月落ちて、日未だ出でず。曙色天に滿ちて、品川の砲臺、近く船尾に見えたり。

（大正五年）

青空文庫情報

底本：「桂月全集　第二巻　紀行一」興文社内桂月全集刊行會
　　1922（大正11）年7月9日発行
※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。
入力：H.YAM
校正：門田裕志、小林繁雄
2008年8月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

月の東京灣

大町桂月

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/